

## 平成30年度 金泉小学校学校経営方針

### <教育目標>

希望：夢に向かってがんばろう  
共生：助け合い、学びあおう  
個性：自分らしさを出そう

教育目標の具現化を目指し保護者や地域社会の信託に応える。  
金泉小学校の良き伝統を継承しつつ、今、いる子どもたちと教職員で平成30年度の金泉小学校の教育活動を創造していく。

### <こんな学校に>

- 1 子どもも教職員も「次の日も、学校に行きたいな」と思える学校  
友達に会える、先生に会えることに喜びを感じる子ども。みんなで学ぶこと、活動することに喜びを感じる子どもと教えることに生き甲斐を感じる教職員のいる学校。
- 2 子どもの成長を願い教育活動を展開するとともに、  
教職員も自己の成長をはかる学校  
「子どもにとって大切なことは何か」を第一に考え、子どもの成長を願い教育活動を推進する。また、職務を遂行する中で教職員自身も指導力を高め、成長を図る。
- 3 教職員一人一人の力を結集し、教育課題の解決を図る学校  
新学習指導要領の実施に向け取り組み、学校に課せられる様々な課題に向け、一人一人の教職員の力を結集し解決に当たる。

### <重点事項>

- 1 児童の「学び」を支える教育課程の実施
  - (1) 学校の伝統や地域の環境を生かし、「生きる力」の育成を目指す教育課程を編成し実施する。
- 2 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善
  - (1) 「主体的な学び」とは、「対話的な学び」とは、「深い学び」とは何かを一人一人の教職員が考えながら日々の授業実践を積み知見を蓄積する。
  - (2) 全国学力・学習状況調査、学習指導改善調査、Web配信集計システム等の計画的な活用を基に指導法を検証し、授業改善に努める。
- 3 地域から学び、ふるさとへの愛着と誇りをもつ学習の推進
  - (1) 佐渡学を通して、地域の自然・歴史・文化を学び、ふるさとをよく知り愛着を感じる中で、ふるさとへの誇りや将来への夢や希望をもち、未来を切り拓く力を育てる。
- 4 豊かな人間性の育成といじめを生まない風土づくり
  - (1) 自然体験活動や奉仕的な活動等を重視した道徳教育の充実を図る。「金泉の花咲き山活動」等を通し、自己肯定感や自己有用感を高め共感的な人間関係を育む。
  - (2) 道徳の教科化を受け、道徳の授業改善を行い、「考える道徳」「議論する道徳」を目指し授業実践を積む。
  - (3) 児童に関わる情報交換の日常化や、生活指導、子どもを語る会等を機能させ、いじめや不登校等の未然防止に努める。また、いじめ問題対策委員会、不登校・中1ギャップ対策委員会の機能を発揮し、早期発見、即時対応、組織的対応に努める。
- 5 特別支援教育の充実
  - (1) 支援を要する児童について、その児童の特性に応じた有効な指導法を探るとともに、自己有用感を高め、長所を生かすなどの観点を加えて「個別の指導計画」を作成し、校内委員会を中心に、実践、評価、改善に取り組む。
  - (2) 障害の特性の理解や一人一人の違いを認め合う人間関係づくりに配慮し児童が成就感を味わい、自己実現が図れるよう支援する。